

「預言されたキリスト。」 イザヤ 53章 3節～12節

原福音と言われるのが、「わたしは敵意を、おまえと女の間に、おまえの子孫と女の子孫の間に置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。」(創世記3・15)です。女の子孫とは、乙女マリヤから生まれたイエス様であり、「かかとを打つ」とは、イエス様を十字架に付けたことであり、「彼はおまえの頭を打ち」とは、「その大きな竜、すなわち、古い蛇、悪魔とかサタンとか呼ばれる者、全世界を惑わす者が地に投げ落とされた。」(黙示録12・9)という最後の裁きを意味します。

詩篇22篇は、キリストの受難が明確に預言されています。「わが神わが神どうして私をお見捨てになつたのですか。」(2)は、イエス様の十字架の上の叫びです(マタイ27・46)。7節と8節はマルコ15・29・30にあり、「彼らは私の衣服を分け合い私の衣をくじ引きにします。」(18)は、ヨハネ19・23・24に記されています。このような残酷な仕打ちを受けながら、「主を恐れる人々よ、主を讚美せよ。」(22・23)と書かれ、「主は、貧しい人の苦しみを蔑まず、厭わず、御顔を彼から隠すことなく、助けを求めたとき、聞いてくださった。」(22・24)と預言されます。そして、「主の義を告げ知らせます。」(31)で締めくくられます。

「見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。」(イザヤ7・14)も、「ひとりのみどりごが、私たちのために生まれる。…主権はその肩にあり、…ダビデの王座に着いて、その王国を治め、裁きと正義によつてこれを堅く立て」(イザヤ9・6)もイエス様の預言として成就しています。

ミカ5章には「ベツレヘム、エフラテよ。あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、あなたのうちから、私のために、イスラエルの支配者になる者が出る。その出ることは、昔から永遠の昔からの定めである。」(5)と預言されています。

ゼカリヤの預言「シオンの娘よ。大いに喜べ。エルサレムの娘よ。喜び叫べ。見よ。あなたの王があなたのところに来られる。この方は正しい方で、救いを賜り、柔和でロバに乗られる。それも、雌ロバの子のロバに。」(9・9)はマタイ21章5節に成就しています。

ダニエル9章には、エルサレムの復興命令(紀元前457年)が出てから483年後(27年、キリストの公的活動開始)に「油注がれた者、君主が来る」(9・25)と、更に「油注がれた者は断たれ」(26)とその死が預言されています。

このようにキリストについての預言は詳細で、反論しようがありません。しかし、神を信じない人にとっては、どうでもよいことで、論証したからといって信じるものではありません。しかし、裁きの時には、これらの預言があり、神が愛をもって働きかけていたのに、なぜ無視をしたのかと不信を裁かれることとなります。つまり、預言は、神を信じる者にとって確信を与え、その教えの真理を確認するものなのです。

今日の聖句は、壮絶なメシアの姿です。多くの人が予想するイエス様の姿は、壮健で優しいものです。この「彼には見るべき姿も輝きもなく、私たちが慕うような見栄えもない。彼は蔑まれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で、病を知っていた。」(9・3)という姿に、開拓期の私は慰めを得ました。伝道熱心な故に攻撃非難された時に、4節から言葉は、「自分の身をもって、キリストの苦しみの欠けたところを満たしているのです。」(コロサイ1・24)のパウロの言葉と共に、私を励ましました。今は、おざなりになつて自分の伝道姿勢を恥じています。

「私たちはみな、羊のようにさまよい、それぞれ自分勝手な道に向かって行った。」(6)。父なる神はそれを覚悟されて、「私たちすべての者の咎を彼に負わせた。」(6)。「それなのに、私たちは思った。神に罰せられ、打たれ、苦しめられたのだと。」(4)そういう自分勝手に、苦勞や責任を嫌がる罪人が人間なのです。

「しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。」(5)。信仰生活で自分の都合や状況を言い訳にして、怠惰であることは、このイエス様の命懸けの犠牲をわからず、また救いを真に受けていないかと思われます。

イエス様の十字架は、「自分のいのちを代償のささげ物と」(10)して私たちを救ってくださったのです。「彼は自分のたましいの激しい苦しみのあとを見て、満足する。」(11) 私たちの魂の代価が、安くはないことをしっておられるからです。

信仰を持つこと、保つことに犠牲を払おうとしない人々がいることは残念です。御子が払った犠牲を、受け取っていないのです。それでも、「彼は多くの人の罪を負い、背いた者たちのために、とりなしをする。」(12)。人は、神に背き続けています。それでも、神は私たちを執り成してくださるのです。しかし、最後の時、御子は裁き主として来られ、「彼らはそれぞれ自分の行いに応じてさばかれた。」(黙示録20・12)

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

イザヤ 53:3 彼は蔑まれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で、病を知っていた。人が顔を背けるほど蔑まれ、私たちも彼を尊ばなかった。

53:4 まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みを担った。それなのに、私たちは思った。神に罰せられ、打たれ、苦しめられたのだと。

53:5 しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。

53:6 私たちはみな、羊のようにさまよい、それぞれ自分勝手な道に向かって行った。しかし、【主】は私たちすべての者の咎を彼に負わせた。

53:7 彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが、口を開かない。屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。

53:8 虐げとさばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことか。彼が私の民の背きのゆえに打たれ、生ける者の地から絶たれたのだと。

53:9 彼の墓は、悪者どもとともに、富む者とともに、その死の時に設けられた。彼は不法を働かず、その口に欺きはなかったが。

53:10 しかし、彼を砕いて病を負わせることは【主】のみこころであった。彼が自分のいのちを代償のささげ物とするなら、末長く子孫を見ることができ、【主】のみこころは彼によって成し遂げられる。

53:11 「彼は自分のたましいの激しい苦しみのあとを見て、満足する。わたしの正しいしもべは、その知識によって多くの人を義とし、彼らの咎を負う。

53:12 それゆえ、わたしは多くの人を彼に分け与え、彼は強者たちを戦勝品として分かち取る。彼が自分のいのちを死に明け渡し、背いた者たちとともに数えられたからである。彼は多くの人々の罪を負い、背いた者たちのために、とりなしをする。」

Isa 53:3 He is despised and rejected by men, A Man of sorrows and acquainted with grief. And we hid, as it were, our faces from Him; He was despised, and we did not esteem Him.

53:4 Surely He has borne our griefs and carried our sorrows; Yet we esteemed Him stricken, smitten by God, and afflicted.

53:5 But He was wounded for our transgressions, He was bruised for our iniquities; The chastisement for our peace was upon Him, and by His stripes we are healed.

53:6 All we like sheep have gone astray; We have turned, every one, to his own way; and the Lord has laid on Him the iniquity of us all.

53:7 He was oppressed and He was afflicted, Yet He opened not His mouth; He was led as a lamb to the slaughter, and as a sheep before its shearers is silent, so He opened not His mouth.

53:8 He was taken from prison and from judgment, and who will declare His generation? For He was cut off from the land of the living; for the transgressions of My people He was stricken.

53:9 And they made His grave with the wicked - but with the rich at His death, because He had done no violence, nor was any deceit in His mouth.

53:10 Yet it pleased the Lord to bruise Him; He has put Him to grief. When You make His soul an offering for sin, He shall see His seed, He shall prolong His days, and the pleasure of the Lord shall prosper in His hand.

53:11 He shall see the labor of His soul, and be satisfied. By His knowledge My righteous servant shall justify many, for He shall bear their iniquities.

53:12 Therefore I will divide Him a portion with the great, and He shall divide the spoil with the strong, because He poured out His soul unto death, and He was numbered with the transgressors, and He bore the sin of many, and made intercession for the transgressors.